

コロナ対応の保健所を描いたドキュメンタリー映画

新型コロナウイルス感染症と保健所



公衆衛生の最前線として
新型コロナウイルス感染症の
拡大防止に重要な役割を
担う保健所。
しかし、増え続ける感染者に
保健所の業務は逼迫。
施設でのクラスターは後を絶たず、
病院のベッドも足りない。
いつ収束するのか見通しもつかない中
「救える命は一人も見逃さない」と、
保健所職員や保健師たちの
奮闘は続く――

ナレーター 益岡 徹

監督 宮崎 信恵

監修 浜松医科大学教授 尾島俊之
後援 全国保健所長会／全国保健師長会
公益社団法人日本看護協会
一般社団法人日本公衆衛生学会
一般社団法人日本公衆衛生看護学会
一般社団法人全国保健師教育機関協議会

協賛 日本コンピューター株式会社
Alternative Coffee Works

助成 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金
(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

2021 | 100分 | 日本 | カラー | DCP
©2021 ビース・クリエイト

ドキュメンタリー映画 100分
日本語字幕あり

<https://www.phh-movie.net/> ウェブサイト



本格的な冬の到来と歩調を併せるように新型コロナウイルス感染症の患者が急増。命の選別や医療崩壊という言葉が毎日取り交わされ、医療機関のひっ迫が私たちの不安を大きくしています。そうした中で対応に追われる保健所はまた戦場さながらの状態になっています。しかし、保健所が新型コロナウイルス感染拡大防止にどのような役割を果たしているのか、その姿は余りに触れることはなく、多くの人には知られていません。

この映画は新型コロナウイルス感染症が私たちの生活を一変させた2020年初夏から2021年3月までの約10か月間を、公衆衛生の最前線である保健所にカメラを据え、感染拡大防止に当たる保健師や他の保健所職員たちの奮闘と葛藤、苦悩をドキュメンタリーで描く中で、保健所の役割と今日的課題を見ていきます。

劇場での公開にあたって

この映画は後の保健医療人材育成や「住民とともに健康危機や公衆衛生」を考える一助として撮影されたドキュメンタリーです。

我が国においてもワクチン接種は進んでいます。変異株への置換が進む中で、医療と公衆衛生の逼迫は「災害としての認識を現実のものとする必要がある」との深刻な事態を招いています。

現在流行中のデルタ株は感染力が強く、感染対策の基本は共通していても、マスクの素材や着用方法一つをとっても「的確で確実」なワンランクアップした感染対策を講じる必要があります。

また、発症2日前から、あるいは無症状の方からの感染もあるため、軽微な症状や一過性の発熱などにも注意を払い早期の受診や検査などを心がける必要もあります。劇場では、感染予防ガイドラインのもと感染対策を行なっています。

ご確認の上、映画鑑賞をお楽しみください。

公衆衛生保健所活動研究会

- 製作費の一部はクラウドファンディングのご支援をいただきました。

- 本映画は『UDCast』方式による視覚障害者用音声ガイドに対応しています。



取材協力 | 中野区・中野区保健所・帝京平成大学・株式会社島田屋・たかねファミリークリニック・みやびハート&ケアクリニック・東京警察病院・全国保健所長会

スタッフ | 製作：宮崎信恵・工藤恵子／撮影：高橋慎二／技術：佐竹樹郎／編集：宮崎信恵／音楽：十河陽一／製作助手：宮崎千鶴／オンライン編集：本田啓明／MA：小林秀浩
公衆衛生保健所活動研究会 | 城所敏英・向山晴子・網野寛子・工藤恵子・澤田理恵・高橋郁子・猪股久美

エンディング曲 | 「明日への約束」 作詞，作曲，歌 PJ
レコーディングエンジニア：佐治泰臣／ピアノ演奏：國友章太郎
題字 | 竹内花静（竹内尚代）

企画：公衆衛生保健所活動研究会・ピース・クリエイト(有)

製作・配給・著作：ピース・クリエイト

〒135-0051 東京都江東区枝川 3-9-10-319

TEL: 03-3699-4883 FAX: 03-3699-4407

http://www.peace-create.bz-office.net

2021|100分|日本|カラー|DCP

©2021 ピース・クリエイト

